

⑨やさしい頼み方(中学校)

『相手が快く引き受けてくれる頼み方』

1. 展開案

過程	学習活動	教師の働きかけ	留意すること
わかる	1. 本時のめあてを知る。	<p>○みなさんは家庭や学校で、自分一人ではどうしてもできないことがあったとき、どうしていますか。自分一人でできない時は誰かの助けを借りると思います。また、頼まれる方の立場を考えたことはありますか。どのような頼み方をされると気持ちよく協力できるのかを考えてみたいと思います。</p> <p>○では、どのような頼み方をすると相手は快く引き受けてくれるでしょう。</p>	<p>・「やさしい頼み方」のスキルを身に付けることで、他人との関係づくりが一層うまくいくようになることに気付かせる。</p>
相手が快く引き受けてくれる頼み方を練習しよう			
	<p>2. モデリングを見て、頼み方のポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 横柄な態度で II もじもじして III ポイントを意識して</p>	<p>○授業を進める上での約束を確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしくない ・冷やかさない ・よいところを見つける </div> <p>○これから先生が3つの頼み方を実際にやってみます。どの場面の頼み方がよかったか、考えながら見てください。「頼む役」に注目しましょう。</p> <p>○3つ目の頼み方のどんなところがよかったですか。</p> <p>○頼み方のポイントをまとめましょう。まず、頼みたい人に声をかけます。次に、頼みたい理由を言い、頼みたいことを伝えます。最後にその願いを聞き入れてもらった時の自分の気持ちを話します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【頼み方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①声をかける ②頼みたい理由を言う ③頼みたいことを言う ④自分の気持ちを言う </div> <p>○声かけは、「ねえ、〇〇さん」「ちょっとお願いがあるんだけど」「〇〇さん、あのね」などが考えられますね。</p> <p>○最後の自分の気持ちは「助かるんだけど」「嬉しいんだけど」などが言いやすいですね。</p>	<p>・約束が必要な理由を添えて説明する。</p> <p>・モデリングは、ポイントが分かりやすくなるように演じる。</p> <p>※モデリングシナリオ参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示するポイント以外で、生徒から非言語の面での気付きが出たら、それらも必要であることを伝える。 ・頼んだ相手の表情や態度にも気を付けておくことを伝える。 <p>・イメージがつかみにくいポイントは分かりやすく例示して伝える。</p>

や っ て み る	<p>3. 頼み方のポイントに気を付けながら練習①をする。</p> <p>『借り物ゲーム』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣の人2人1組で、隣の人から消しゴムやペンを借りる。借りる方は席を立ち、隣の人正面や横側から借りる。1回ずつ交替して行う。 ・1回目は友達に何も言わず、目があってから消しゴムやペンを借りる。→黙って返す。 ・2回目は「〇〇さん」「〇〇を忘れたから貸して」と言ってから借りる。頼まれた人は「いいよ」と返事をして、貸す。→「ありがとう」と言って返す。 	<p>○頼み方を練習します。まず、練習①は『借り物ゲーム』を通して、頼み方のポイントの大切さを体験します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく取り組ませ、ゲームの中で感じた気持ちを交流することで、練習への動機付けを図る。 ・『借り物ゲーム』の2回目は練習①になることを伝えて、ポイントを意識して行わせる。
	<p>4. 全体で話し合い、練習①を振り返る。</p>	<p>○1回目と2回目、それぞれどのような気持ちがあったか、聞きましょう。体験してどのような気持ちがありましたか。</p> <p>○ふり返しシートに自己評価をしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを使って頼まれるとどのような気持ちになるかを押さえる。 ・ふり返しシートを配布し、記入させ、よかった点を振り返らせる。 <p>※ふり返しシート参照</p>
	<p>5. 頼み方のポイントに気を付けながら、練習②をする。</p>	<p>○4人組になって、ポイントに気を付けながら、頼み方の練習②をしましょう。</p> <p>○まず、役割を分担します。始めに役割を決めますが、役割は交代してすべて体験します。</p> <p>○「頼む役」「相手役」の人は席を立って練習します。練習ですので、「相手役」の人は最後に「いいよ」と言って、頼みをきいてください。「観察役」の人は「頼む役」の人を見て、4つのポイントができているかどうかを観察してください。もし、4つのポイント以外にもよいところがあったら、覚えておいてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを示し、場面を説明する。 <p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しシートとワークシートは両面印刷をしておくとうよい。 ・「頼む役」「相手役」「観察役(2人)」の役割を分担させる。 ・「役は時計回りでまわす。」など、指示しておくとうスムーズに練習できる。 ・練習でポイントを使って頼むことができる生徒をその都度褒める。
<p>6. グループで話し合い、練習②を振り返る。</p>	<p>○練習②を振り返りましょう。「観察役」の2人は4つのポイントができていたか、どのようなところがよかったか、具体的に振り返ってください。4つのポイント以外にもよいところがあったら、伝えてください。</p> <p>○ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。</p> <p>○3回目の練習で、特に気を付けたいポイントを決めます。ふり返しシートを見て記入しましょう。2回目の練習で全部できていた人は新しくポイントを作ってもいいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「観察役」には4つのポイント以外にもよいと思ったことを伝えさせる。 ・最後の練習では、生徒自身がどのポイントを意識して練習に取り組むかを明確にさせ、練習への動機付けを 	

	<p>7. 頼み方のポイントに気を付けながら、練習③をする。</p> <p>8. グループで話し合い、練習③を振り返る。</p>	<p>○では練習③を行います。ワークシートの練習③を見てください。4つの場面を準備しています。どの場면을練習するかは頼む役の人が決めてください。</p> <p>○練習③を振り返りましょう。「観察役」の2人は4つのポイントができていたか、どのようところがよかったか、具体的に振り返ってください。ポイント以外でもよいところがあったら、伝えてください。</p> <p>○ワークシートに自己評価を記入しましょう。</p>	<p>図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が終わったら、他の場面に挑戦してもよいことを伝える。 ・練習でポイントを使って頼むことができている生徒はその都度褒める。
<p>ふりかえる</p>	<p>9. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日は、頼まれる役のみなさんは、快く頼みごとを聞いてくれましたが、場合によっては断られる時もあります。その時の対応をワークシートにまとめています。確認しましょう。</p> <p>○今日の活動を振り返ります。ふり返しシートに記入しましょう。</p> <p>○今日は、相手が快く引き受けてくれる頼み方を練習しました。相手が快く「いいよ」と言ってくれるように、自分の頼みたいことを上手に伝えられて、友達の輪が広がるといいですね。</p> <p>○これからしばらくチャレンジ週間を行います。普段の生活の中で、今日の学習が生かされたかどうか確認をしながら、自分の人間関係を築く力を向上させていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの下段に注目させ、頼みを断られたときの対応のヒントを伝える。 ・ワークシート・ふり返しシートを回収する。 ・「やさしい頼み方」のスキルの意義を押さえ、定着化の取組(チャレンジ週間)に向けて、生徒の意欲を高める言葉かけをする。 ・チャレンジ週間の説明をする。 <p>※チャレンジシート参照</p>

モデリングシナリオ

*生徒 A 役は教師が行う。

場面設定

次の授業(体育)の準備をしようとした生徒 A は体操服を忘れたことに気付いた。あわてて隣のクラスの生徒 B のところへ行き、体操服を貸してくれるよう頼む。

モデリング① 横柄な態度で頼む。

生徒 B：(席で本を読んでいる。)
生徒 A：おい、体操服貸せよ。(とても横柄な様子で)
生徒 B：え……？
生徒 A：体操服だよ。時間がないんだよ。早く貸せよ！！
生徒 B：はぁ？
生徒 A：授業に遅れるだろう！さっさと出せよ。

この頼み方、どうだった？(よかった・悪かった)

どんなところがいけなかったかな？

予想される反応：やさしくない、相手のことを考えていない、強引

モデリング② もじもじしながら頼む。

生徒 C：(席で本を読んでいる)
生徒 A：C さん、体育のことなんだけど……。 (小さい声で)
生徒 C：何？体育？体育がどうしたんだよ。
生徒 A：…実は今日の体育、バレーがあるんだ…。
生徒 C：へえ、そうなんだ。それで、どうしたの？
生徒 A：あ～、いや～、その～……
生徒 C：だから何！！はっきり言ってよ。
生徒 A：あ、いや、やっぱりいいや。

この頼み方、どうだった？(よかった・悪かった)

どんなところがいけなかったかな？

予想される反応：はっきり言ってない、何を言いたいのか分からない、声が小さいなど

モデリング③ ポイントを意識して頼む。

生徒 D：(席で本を読んでいる)
生徒 A：D さん、今ちょっといいかな？
生徒 D：何？
生徒 A：実は、今日体育があるのに、体操服を忘れちゃったんだ。
生徒 D：あらら。
生徒 A：次の時間、悪いんだけど体操服を貸してくれない？
生徒 D：あ～、いいけどわたし(僕)のクラスも体育があったから、汗で汚れてるかも。
生徒 A：貸してくれると本当に助かるんだ。お願い、頼むよ。
生徒 D：わかった。いいよ。

この頼み方、どうだった？(よかった・悪かった)

どんなところがよかったかな？

予想される反応：やさしかった、相手を見ていた、聞こえる声ではっきり言っていた、声をかけていた、理由を言っていた、助かると言っていたなど

3. 活用場面のアレンジ例

「⑨やさしい頼み方」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・委員会活動で協力を得て仕事をしなければならないとき
- ・自分だけではできそうにないことをしなければならないとき
- ・一人で難しい課題に取り組むとき
- ・分からないことを教えてもらいたいとき
- ・何かを貸してもらいたいとき
- ・何かをとってもらいたいとき
- ・何かをしていて手が離せないときに代わりに何か頼みたいとき
- ・部活動で準備や片付けなどをするとき